

---

# イダー×魔法少女×魔法少女 ディケイド&リリカルなのは&まどか マギカ～スピンオフ劇

トーマス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

仮面ライダー×魔法少女×魔法少女 デイケイド&リリカルなのは＆まどか マギカ～スピンオフ劇場～

### 【Zコード】

Z9220Y

### 【作者名】

トーマス

### 【あらすじ】

仮面ライダー×魔法少女×魔法少女 デイケイド&リリカルなのは＆まどか マギカ クロス大戦のスピンオフとして、ついに登場！！

各キャラクター達による、笑あり涙（あるのか？）（グロ無し）のドタバタの昔話による劇や色々と繰り広げた為に、周りはとんでもないカオスな状態で大暴れ！

・本編のクロス大戦との繋がりはありませんが一部、原作のネタバ

レが含まれていますので閲覧には気をつけて」「ア」承ください。それと、特別ゲストも参戦します。

## 『シンデレラ』（前書き）

はやて「この度、仮面ライダー×魔法少女×魔法少女 デイケイド&リリカルなのは＆まどか マギカ クロス大戦が予想外にも5万いつしかつたので、スピノフ作りましたー」  
キバット『まあ、アレだよなー作者自身もここまで伸びるとは思つても見なかつたらしいぜ』

はやて「『どうぞ、良くなつても1万程度だろー』 つて思つていたそつや。』

キバット『そんでもつて調子に乗つて、スピノフだよ。本編だつて、あんまり進んで無いのに、これだよー』  
はやて「そいやなーアクセス数が伸びても、ポイントが中々伸びても無いのに、よくやりあるわ」

キバット『本編の一部でドタバタやり過ぎて、お気に入り数が減つたよなー』

はやて「うんうん。それで、少し真面目に書いたら、残酷な描写ありな話にしたら、それでも減つたわなー今は落ち着いているけど」

ユウスケ「誰があの一人止めなよ」

まどか「もう、作者の本音語つてますよ……」

はや・キバ「そんなこんなで、スピノフ第1弾・シンデレラ始まるよー」

『シンテラ』

はやて（ナレーション）『むかーしむか…』って、杏子ちゃんなんつ  
と聞いてええか？』

杏子『なんだよ、はやての姉ちゃん? 続き言わないのかよ?』

にやで「前から思ってたんだにどな  
のくらい昔なん?』

二·五

はやで、早くこれから作に詠は因るべや  
せぬて、ちやんと  
とした時代設定を考えて欲しいわー』

杏子・知るかあああーーーー！第一 子供が見る本なんだから  
い設定なんて作つても子供は興味出ませんよ！

はやで、それ一理あるわ。てな訳で、なんやかんやで昔々、ある国にシンデレラって子がいたそんやー』

『やがてしかしシンボリは結婚をする。如に毎日毎日のように扱き使われていたそいや』

オクタヴィア（継母）「ガアアアア――（シンデレラーちょっと

来なさい！」

セミロング・キ

オクタヴィア「ガアアアア――――――（何でしょうじやないわよ！

部屋が汚いじゃない。」

杏子『シンドウリサセヤ』のロングのせやかで、継母は魔女のオクタヴィ

『まだ、クロス大戦本編にも出てないのに出して良いのかよ！？』

はやて『一応、原作ネタバレって書いてあるから平気や』

杏子『聞いてないよ、そんな話！そもそも、あのオクタヴィア何処から連れて来たんだよ！？』

はやべ『ペーツビ。一度さやかちゃんが失恋して、フラれて泣いて、その腹いせに悪さしたい願いで、産まれたばかりの魔女や。原作の

『まだマギ8話の最後の所からかな』

はやで『まあ、口メテイーつて事で。笑つて流して欲しいな、そこ  
の辻々 そいの如く來む!!』

お姉さんとお絆兄ちゃん  
杏子『そんな事でどうでも良いから、早く続きを始めてー話が止ま  
つてゐからー』

はやて『あー大丈夫や。私がナレーションしなくつても、勝手に始めてくれるよ』

ロシ・ヤマカ「お、お、お、

オクタヴィアーナー！（くずくしないでさつさとしなさい！）

はやて『えつー実際、オクタヴィアのセリフが『ガアアアアーーー』から『ガアーー！』になつたのは、作者が面倒！つて、事で投げやりに変わりしましたー』

杏子『……それで言わなくって良いんですねーああもうー継母はシンティアレラに対してとても意地悪でした。そして、シンティアレラは継母の言う通りに散かつた、食器を……』

セミローン・セヤカ「あう！」

豪快に転んで、食器を割り……ついでー！」のわやかだ  
杏子『ジッ子！？』

はやて『なかなか萌えるやうに〜デジハ子

はやて『なかなか萌えるやろ? デジっ子属性のヤリロングのせやかのシンデレラ。しかもクマちゃんパンジー!』

『やないー。』

セリフ「ロボン・セヤカ」「あー……」「めんなセコです!」「オウタヅバイア」「ガアー!」「かんで斬る!」「魔去シナ

ダーと魔女は存在しないの！－）『そこは同意！－b』杏子

「シノトム」

はやて『豪快に転んだため、鼻血がダラダラ出でているシンデレラを呼んだのは、継母の実の娘でシンデレラの義姉の二人…』

ミフヨイト（義姉！。赤いメッシュが入った逆立つた髪）「おい！」

ジン!!「…俺のソーラン向處だ!!?」  
「…」  
「…」

義姉役なんだああああああ――――――!?

杏子『何で義姉がシヨウイチのおひなちゃんとモモタロス何だよおおおおー!? むしろ、モモタロス追いで出して、普通にフヒイト姉ちゃんで良いだろー? それと、おひなちゃんの髪型をアン 風にするなー!』はやて『まあまあ、普通に女性陣の誰かにしたら面白みがないやんかーだから、じいには男性にして面白おかしく…』

木口子『するなあああああ——. . .』

ショウイチ「あーそのなんだ、劇の台本通りにしたい。だが、すまないが俺の服を洗つてくれ。それとこんな劇、早く終わらせたい」フロイト「いいから、さつさとプリン出せーーシンガコリー！」

杏子『』の馬鹿桃！ わからぬ前間違えるんじゃねえええ――

~~~~~

はやて『そんなこんなで、シヨウイチ義姉さんの服を洗濯する為、家の裏井戸から水を汲み、桶で「ゴシゴシ洗濯するシンデレラ。誰か?』二三は懲り111円の手洗いで洗濯するつて、和本に書く

さやか「あう……お父様、どうして私を一人にするの？」

はやて『えー、シンティーラのお父様は遠くの町で不幸な事故によつてこの世から去つてしまつたんや……』

回  
想

QB 君達、魔法少女になれる素質があるね！僕と契約して、まほ

あばあー

まどか（町娘）「わやあああーーほむりひやんが変な生き物を蜂の巣にして殺しきやつたよおーー。」

キヤロ（その2）「この人で無しーーー！」

ほむら (その3) ほむつー」

回想終了

杏子『確かに不幸な事故だけど、あいつが親父役かよ！？それと、ほむらあああーーー！ドヤ顔でこっち見るなああああーーー！』はやて『そんな可愛そうなシンデレラをナズエミテルンディス！！なネズミがいました』

杏子『オンドウル譜で聴わない!』

キバット（ネズミ）『うほつ！いいおっぱい！揉ませる』  
エリオ（その2。何故が電気ねずみのコスプレ）「何で僕この衣装  
なの？」

杏子『ヒリオせじつでもいいけど、駄一ウモリ……！』  
一何で、ハリモリがネズミ役なんだよ！？それと、今のも日本通り  
はやで『ちやうよ～キバットモモタロスだけは、全てアゲリフや  
！？』  
』

セヤカ「うーんにあは。ネズミさん、  
キバット『おーおー、うわせやが良こおひさまーじやねーかー少し揉  
ませる』

ティアナ（黒子？）「はーい。駄コウモリは不幸な事故によつて退場しまーす」（両手にはクロスミラージュを構えている）

スバル（黒子？）「あっ、私たちは黒子だから気にせず続きを始めて！」

エリオ「（そうしたいけど、僕にセリフは…）」

さやか・あ二 良いんだよ 私 洗濯と掃除嫌いじゃないよ」「リオ「(カ)ませる 業阿も言つてませる」

卷之三

はやで『因みにセリロングのセセカチセんのおつぱいは、中々の熟した桃やで！でも、シグナムの乳の方が最高やー。そんでもって、その時やーお城の人があつてきて、パーティの招待状を持ってきたんやー。』

オクタヴィア「ガアー！（まあ、お城のパーティですって！？）」  
シグナム（お城の人その1）「（何言つてるんだ、この魔女は…？）  
まあ、そうだ。是非とも来てくれ。」 適当に答えた  
ショウイチ「行きたくねえ……」 心からの本音

シグナム「ああん、へり……垣河殿。へり……では、もう一回——。」

杏子『アレ。普通に言つてるけど、シグナム姉ちゃんどう見ても、ショウイチのおつかやんの女装に笑いに耐えてるよね!』

オクタヴィア「ガアー！（なんでもお城の王子のお妃を決めるパー  
ティらしいよ！）」

ショウイチ「マジ行きたくねえー！もう帰つて良いか！？」

「Mフェイト「んな」とより、プリンまだー?」

オクタヴィア「ガアー！（王子様に気に入られるよう、頑張るんだよお前たち！）」

シヨウイチ「話し聞いてた！？」

杏子『もう、台本通りにやつているのオクタヴィアしかいなくね？いや、気持ち分かるけどさあ、おっちゃん！』  
はやて『お妃様になれる！つと、聞いて！キャーキャー嬉しそうに喜ぶ義姉達！一人は早速ドレスを探しに、もう一人は御粧しに大慌てや！』

杏子『喜んでないからね！ショウイチのおっちゃんなんて、もう涙目だよ！誰が助けてやれよー！それと、あたしもツツミから助け  
て！！』

はやて『そんな義姉達が喜ぶ中、シンデレラもナズエミテルンティス！－状態で継母を見ていたんや。』

杏子『あー大体分かった。渡そうと思ったら、暖炉に燃やされるん  
だろ?』

さやか「あ、あの…お、義母さま…わ、私も…ダメですよね？」  
オクタヴィア「ガア…（まあ、これはアンタ宛てだし…べ、別に行つても良いわよ！今回だけは特別なんだからね…！）」  
さやか「あ…あ、ありがとうございます！」

杏子『予想外キター！？それとツンテレ・オクタヴィア！？ちょっと  
と、これ本当に予想……』

はやて『シンデレラは嬉しさのあまり舞い上がりつて転んで、そして、お城への招待状は暖炉に燃えてしまつた……』

杏子『こっちの方が予想外だまあまあまああ――――!? 何この不

幸ふり！？ドジっ子じゃなくって、薄幸娘だよ！あれか！不幸の上条さんか！？それとも幸太郎さんの影響！？』

さやか「あああああああ――――？」（涙目）  
ショウイチ「これ、やるから代わりに行つてくれ。うん、マジで」  
オクタヴィア「ガア――（これはフォロー出来ないわ）」  
ミフエイト「まあ、泣くなつて。良太郎なら、今まで一緒に招待状と共に燃えてるぞ」

杏子『なんか、本当に予想外にも同情されているよ――これシンデレラだつたよね！？この際、ショウイチのおっちゃんの招待状で行つちゃえよ――さやかとおっちゃんの為にもさあ――』  
はやて『せうは問屋が許しまへん！それから、シンデレラは家にお留守番で継母と義姉の二人はお城に行つてもつた！』  
杏子『アンタつて人はああああああ――――――』

さやか「あうう……何でいつも、こんな目に遭つの……お母様」

はやて『シンデレラのお母さんも不幸な事故により、この世から去つてしまつたんや……』

## 回想2

マミ（シンデレラのママ）「私、今の夫と別れて新しい夫と結婚するの――」  
ワタル（その新しい夫……と言つか無理矢理結婚させられる少年）「たーすーけーーー！」  
マミ「だから、もう何も怖……」  
シャルロッテ（旅人）『子供を泣かすなあ――』（マミひたた）

回想終了

杏子『マミが、お母さん役ー? これも不幸……じゃないな、自業自得だ。つと

自得だ うん

はやで『そんな悲しい思いをしているシンボルの前に、ある顔が  
聞こえたんやー』

はやて『え…つと。家に現れたのはディバインバスターをぶつ放した魔法使いさんや』

杏子『何処が魔法使い！？アレ、家が半分消滅したよ！シンテレラ無事だけど、家が壊れたよ！？アレ、魔法使いじゃなくつて魔砲使  
いだよ！』

なのは（魔法使い？）「いやはははー初めまして、シンデレラ。私は

れやか「あ、あのね…」

さやか「帰つてくだれこ」 勇気を持つて言った一言

1

なのは「それでね！私が来たのは」

さやか「家を破壊しに来た？」

なのは「スター」

セセカ「（もつ涙田で、白旗を出す）」

なのは「貴女をお城のパーティに連れて行こうと来たんだよ  
さやか「ほ、本当ですか!? お城のパーティに連れて行つてくれる  
んですか、魔砲使いさん!」

なのは「うん! 私の仲間が貴女を連れて行つてくれるの!」  
さやか「 仲間?」

はやて『 そう言つて、魔砲使いさんはシンテレラと共に外に出たん  
や。そして! そこにオーロラが現れて、その中から出てきたのは』  
ディケイド（その仲間）「おーい。馬と馬車、連れてきたぞ」  
アンク（特別ゲスト1）「誰が馬だ!」  
カザリ（その2）「ちょっと、何で僕らを呼ぶのさー? まだ、ME  
GAMAX始まってないよ! ?」  
ウヴァ（3）「つーか、誰が馬車だ!」

杏子『 何でグリードオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ  
出すんだよ! クロス大戦にオーブ出でないよ! なのに何でー! ?』  
はやて『 特別ゲストのグリードの皆さんや。因みに、全員完璧な  
ので、ご心配無用やな』  
杏子『 そうじやなくつて、もしヤミー作られたら』

なのは「良い3人(体?)とも、勝手にヤミー作つたら……全力全  
快(全壊)でメダル破壊するからね……」  
アンカザウヴ「 はい! 」

杏子『 (あの姉ちゃんの事だから、) 冗談抜きの本気で破壊しそうな  
予感が……』

さやか「 あのあ……その前に私、ドレス持つていません……」  
ディケイド「 ん? それは大丈夫だ。写真館から色々あるから持つて

きたぞ

はやて『えー一本当はい』で、『ユキッ！ さやかちゃんのモザイク無しの生着替え！ ポロリも丸見えもあるんだよ！』なんですが、これは小説の為、絵がありません。 チツ！』

杏子『（さやかの為に）シッコミたいけど、実はさやかの生着替えが超見たいーーっと、眞づけられん間に悩む）』

さやか（水色のドレスにスカートの部分に白のフリル。妙に胸元の谷間が見えている）「ど、どうですか…」（／／／）  
ディケイド「まあまあだな。大体65点って、所だな」

杏子『ドレス姿のわやかも可愛い！そして、何処が65点なんだ？あのバー「ード瀧すー』

した

はやて『でも、着替えは見たい？』

「……………」

はやて『さつき、実は裏方のシンジさんに頼んで盗撮して貰つたん  
だけど…欲しい?』

杏子『くつ……そ!』

「それは、お城まで行くんですか？」  
「いや、『お城』の『城』を指して運んでねー」

アンク（正面）「クソッ！これが終わったら、アイス食わせろよな

!

カザリ（右側）「もう、さつさと終わらせて欲しいんだけどね」

ウヴァ（左側）「あの女共め！覚えていろよ！」

なのは「それと、今更脚

ちやか「はーい！」

『やあ、シンドレーラはお城に向かいましたー』

「…今更言つたゞ、あのホーローハンを使えば直ぐに着けるよなー」  
「まつたくだ」  
「…」

お城

恭介（王子）「あのぉ……これって、何の罰ゲームですか？それと、あの怪物は何ですか？」

ショウイチ「すまん。こんな、くだらない話に付き合つてすまん。ナゾ、アノ二は姫を掛かるが。別な意味でござるが。」

号泣

参考にはいる

ほむり（招待された人）「 もやーおうじわまー」（棒）  
まどか（その2）「 このねんじゅうまーにかられてしねえー」（

棒

カズマ（アの3女戦士）「このせぬがねのこひばんしみん」（投げやつ）

恭介「ちよ!? よく分からぬ状態で連れて来られているのに、何で僕ここまで言われているの! ?」

「お前、初めて会うのは  
何処か懐かしい感覚がして、おのづ  
物、顔が怖つ！」

ソウジ（その4女裝2）「といふでおでんは無いのか？」

！」「  
シヤマリ（お坂の人） あにますよー私の自信作のおでんなんです

ちゃんが口から泡だして倒れたあああ――！」

シグナム「シャマルうううううーーーーー？」

杏子『ちゅうとおおおおおお——!』れ、とんでもないドロドロな展開発動だよ! 三角関係な空気が重い——! それと、他の歯は平原とスルーするなああ——! ?』

はやで『そんなことは置いてここで、お城にまつてきたのは傷だらけのシンデレラが来たんや!』

「あううう……途中で転んで顔が痛いよお……」

アンク「まさか道の途中でな…」

カザリ「あれば反則だよねー」

ウヴァー バナナの皮で転ぶとはな。誰のせいだ？」

アンク・カザリ「「そのバナナの皮で豪快に転んで、シンデレラを投げ飛ばしたのはお前だああああ——！」」

杏子『何せうてるんだ！あの虫頭ああああ――！』

はやで、ウヴァの事も置いといて。一方では、オクタヴィアと仁美の壮大な殴り合いが始まっている中、王子こと上条恭介はシンデレラの元に向かつたんやー』

杏子「その二人を誰か止めよおおおおおー！」

恭介「えつと…（何だらう…）のさやか、ちよつと可愛い）僕と踊つてくれますか？」

はやでついに、夢にまで見た光景やなー』

これが「すみません、チーズで」

杏子『なんでだあああああああああ――――――!?』

さやか「私、実は…ちょっと男の子っぽい女の子が好きなんですね…」  
なので、チエンジで「

はやで『つてことで、チヒンジされて代わりに杏子ちゃんが王子様役に変更でーす』

杏子（王子代理）「聞いてねえええええ――――――」  
さやか「結婚してください！」

杏子「どう真ん中のストレーダーに向ひておたがいーー」のやかーー」

キバット（代理のジジコ://役?）『おつりの際、おこしてベジでゴーリインしてよくな?』

はやで、『そんでもうと、子供にほ見せられないシーン発生やな！』

杏子「するなああああああ——————！」

（アーリー・カーブル）カーブルの力は、アーリーの力である。

わやか、「もしかして、小さく胸が好みでしたか?」

杏子「（どう返せばいいんだー！？ああもう！もし、あたしが男だったら、即コレクッテモイイカナ状態だよー）」

はやて『ウフフ……面白くなつてきた展開やな……』

カーン、カーン！

はやで『なんで、鐘が鳴るんねん！KY鐘！』  
キバット『この際、もうちょっと先延ばして、一人がベッドの上で  
(ピー)で(ピー)するまで待つか

杏子「出来るかああああああ——！ オイ、一応台本通りのことでの12時になつたから帰つてくれー頼むから！」

杏子「話し聞いてたー?アンコーーー」つを連れて帰つてくれ——

アンク「誰がアンコだ！アンコ！」

杏子「うるせえー！誰がアンコだ！いいから連れて行つてくれ！この話の為にも！」

「うぞ！」アンク「チッ  
これが終わったら、アイスパフェ食わせてもら

さやか「あーれー」（ガラスの靴を落とす）

卷之三

## キバット『全くだー』

カザリ「あれ? 業たちのいなくなー? 」

ウヴァ「どうでも良いから帰りたい」

はやて『それから翌日やー王子は昨日の女の子を探すため、ガラスの靴を持ちながら町中探し回つて、苦戦したそうやー』

杏子「だって、知つてこらねー。シンボレラがセヤかだつて」と  
「モー！」

『キバット』まあ一アレだ。このおも、ダラダラやつておナゼこんじやね?』

杏子「出来る訳ないだろおー！わかつたよ！行きますよー！」

はやて『ついに、愛しの少女が住む家に辿り着いた王子!』  
キバット『ああー我が愛しの姫よー私が貴女の身と心を奪いに来た  
ぞー!』

杏子「（あの一人後で殴る！）おーい、失礼しまーす」「ショウイチ「おー、やつと着たな。連れて行ってくれ」「Mフェイト「コイツを幸せにしてやつてくれ。」

さやか「あ…私を貰つて…ください」(ーーー)

杏子ーちよーと！まだガラスの靴履かせてないよ！？」

シ!! カイホー、そんなに心配するのも餘る!! 早く終わるんだから、もう我

と連れて行ってくれ！」

卷之三

はやて『ディケイドのオーロラ』によつて、王子様とシンデレラはお城に戻り、2人は末永く幸せになつたとさ

終わり

## 『シンボル』（後書き）

スピノフ第1弾が本当に酷い。誰だよ、こんなに酷いシンボルを書いた奴！（自分で）

スピノフの方はのんびり更新で行いつと思します

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9220y/>

仮面ライダー×魔法少女×魔法少女 ディケイド&リリカルなのは&まどか  
2011年11月27日18時49分発行